

総合学科だより

「産業社会と人間」

二年生からの系列決定！

十二月の三者懇談で、一年生の系列が決定しました。二期制となり、「産業社会と人間」の年間スケジュールも大幅に変更となった一年でしたが、初志貫徹で自分の希望を通じた生徒も、また、「産業社会と人間」の取り組みを通じて考えを深め、変更した生徒もいました。しかし、自分の将来について考え、自分で決断した系列です。これからのそれぞれの系列での活躍が楽しみです！

入学時（4月）の系列希望

言語・文化系列	23名
観光産業系列	15名
健康福祉系列（介護）	11名
（保育）	13名
未定	17名

最終的な系列決定（12月末）

言語・文化系列	37名
観光産業系列	21名
健康福祉系列（介護）	7名
（保育）	13名

「地域の伝承に学ぶ」コンテスト

最優秀賞受賞！

國學院大學が主催する「地域の伝承に学ぶ」コンテストで、言語・文化系列、観光産業系列二年生の作品が最優秀賞を受賞しました！、「社会探究」「地域研究」の授業において、今回は、アジメドジョウや民話を題材に、「民話からみる益田川へ調べ、歩き、聴き、学ぶ」「アジメドジョウと清流がもたらす地域の生活文化」として作品にまとめました。六四〇作品もの応募があった中で、下呂の文化を丁寧にまとめ上げたことが全国的にも評価されました。何気なく見過ごしている何気ない文化の大切さを再確認し、授業での取り組みが高く評価されたことで、生徒も満面の笑みで受賞を喜びました！

第三回観高サミット@長崎

十二月十九日（土）～二十日（日）にかけて、長崎国際大学で開催された第三回観高サミットに、二年生観光産業系列の代表生徒三名（今井綾香、熊崎しずく、中嶋可鈴）が参加しました。

参加生徒が、まず驚いたのは、担当した佐賀県立嬉野高校の生徒による大会運営の手際の良さでした。同じ高校生は思えないほど、会場での案内、大会の進行など隅々まで気を利かせておもてなしを受けました。同じ観光を学ぶ生徒として、とても刺激となりました。

十九日（土）は、各校の取り組み発表。どの学校の取り組みも大変魅力的で、まだまだ私たちにできること、やってみようことがたくさんあるのだと実感しました。



交流会の様子

実践発表の様子

長崎国際大学学生によるハウステンボスガイド

参加生徒全員で記念写真

二日目は、嬉野高校の生徒がコーディネーターとなり、生徒交流が行われました。ワールドカフェ方式と呼ばれる方法で、「魅力あるまちづくり」をテーマに、多くの学校の生徒と意見交換をすることができました。全国の高校生と交流できるチャンスは、滅多になく、参加した生徒も、これからの学びに生かしていきたいと充実した思いを胸に帰ってきました。

参加校

宮城県松島高校・三重県立鳥羽高校・松島私立女子高校・高知県立伊野商業高校・高知県立須崎高校・佐賀県立嬉野高校・佐賀県立唐津青翔高校・岐阜県立益田清風高校

萩原南保育園クリスマス会

十二月七日（月）、健康福祉系列保育コース三年生の生徒が、日ごろから実習でお世話になっている萩原南保育園の園児を高校に招いて、クリスマス会を開きました。当日は、園児とクリスマス飾りを作ったり、高校生がクリスマスソングの演奏をするなどして楽しみました。園児の笑顔が最高のクリスマスプレゼントとなった一日でした。



クリスマス飾りを作りました

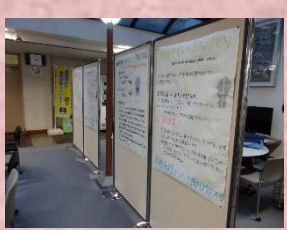


高校生の生演奏を楽しみました

介護職員初任者研修修了

健康福祉系列介護コース三年生十一名が、六月から約半年間にわたって取り組んできた介護職員初任者研修のプログラムを全て修了しました。これまでに、講師として地域の多くの方々、大学関係者にお世話になり、また施設など見学させていただきました。専門的なプログラムで時に挫折そうになる生徒もいましたが、最後の筆記試験まで、無事全員がやり遂げることができました。支えていただいた方々に感謝申し上げます。

市役所で授業のまとめを展示



市役所ロビーでの展示

十二月十五日（火）～二十四日（木）の期間、生徒が授業で考えた、下呂市への提言を展示させていただきました。二十代人口の減少を解決するために、「若者が住みやすいまちづくり」をテーマにグループ毎にまとめた作品です。今後は、こうしたアイデアを実現できるように進んでいきます。